

カナダ短期海外研修報告書

嶋田凌大 | 都市環境学部分子応用化学コース 2 年 |

1. はじめに

私はカナダ短期海外研修に参加し、2018 年 3 月に 1 ヶ月ほどカナダ オンタリオ州の都市 トロントに滞在しました。この研修は私にとって初の海外渡航であり、「国際社会に適応するために異国の考え方を学ぶこと、また、一か月間英語だけの環境に身を置くことで国内ではできないような英語学習成果をあげること。」がこの研修における目標でした。



研修の結果、多民族国家であるカナダに滞在し、実際に人々に触れながら学校で文化を学ぶことで、日本人とは異なる考えを持つ人々に対する理解が深まりました。英語に関していうと、語学能力そのものは一定の上達は感じられたものの、一ヶ月という期間の短さや日本人学生(首都大に限らず)の多さに起因して、当初思っていたほどは向上しませんでした。しかし、英語の教員でないネイティブスピーカー(必ずしもきれいな英語を話すとは限らない)とたくさん会話し、臆せず英語を使えるようになったことはこの研修における一番の収穫であったと思います。

このように、英語学習の観点では少し後悔も残りましたが、多くのことを学び、満足のいく初海外渡航でした。

さて、このレポートでは主に、私が研修中にどのような場所で生活し、何を学び、何を楽しんだのかについて述べました。私がここに記す経験が、参加を考えている読者の皆さんの良い判断材料になれば良いと思います。

2. 生活

York 大学は空港から車で 1 時間、トロントの中心街(ダウンタウン)から 30 分程度の場所にある大学です。その敷地はとても広く、大学内に売店飲食店等が充実しているため学生生活を大学内で済ませることも不可能ではないほどでした。York 大学には様々な国からの留学生が在学しており、カナダ人だけでなく日本人含むアジアからの学生も少なくないようでした。



私たちは大学内の Founders Residence という寮に滞在しました。この寮には多くの留学生が在学していて、中国や韓国からの留学生が多い印象でした。この寮では学生による自治が成立しており、寮の階ごとに DON と呼ばれる York 大生のリーダーが監督していました。寮では各階の DON 達による MovieNight 等のイベントが頻繁に開催され、このように、寮は生活面も学習面でもサポーターが充実したアットホームな雰囲気に満ちていました。

寮の施設は古いながらも充実していて、シンク、テレビ、ソファなどが備え付けられた共有スペース：CommonRoom は寮生の憩いの場でした。寮の入り口はオートロックで夜間は寮生が一人見張りにつくため安全性も心配ありませんでした。また、寮の風呂はシャワーのみで、バスタオルは一枚支給されました。洗濯機は備え付けられていましたが、洗剤は個人が購入しなければならないので好みがあれば日本から持って行ってもいいかもしれません。

大学内の様々な場所で飲食・売店を見つけることができますが、1番は栄えているのはYorkLaneとStudent Centerという場所の付近です。このあたりにはハンバーガー店をはじめ、アジア料理店、インド料理店、カフェやバーなどがあり、寮にキッチンが無く料理ができなくても特に苦勞はしませんでした(ただしファストフードが多く、日本人の口に合わない料理も多いので注意が必要です。また、土日は日本のお店と違って営業時間がとても短くなります)。一食にかかる金額は軽く済ませると6ドル程度、お腹いっぱい食べると10~15ドルくらいになりました。学内の飲食店ではYUカードと呼ばれる学生証と兼用のプリペイド式電子マネーが利用でき、この研修に参加すると375ドル分の残高が支給されます。この方法で食事の代金を支払うと消費税かからないため、375ドル分を使い切った後もクレジットカードや現金を使わず、このカードにチャージする参加者もいました(大半の人が375ドル分で1ヵ月を乗り切っていました)。売店はドラッグストア(食料品も買える)、書店などがあり、生活用品に困ることありませんでした



また、YorkLaneの2階のYorkInternationalという施設では週2回ほどコーヒーブレイクというイベントが開催されており、様々な国から来たヨーク大生と会話することができます。

3. 学習

研修の授業は主にYUELIというYork大学付属の英語学校で行われました。初日のテスト結果に基づいてAP1からAP9のレベル(数字が大きいほどレベルが高い)に振り分けられ、メインの授業はそこで受けることになります。私のクラスはAP7で中国、韓国、サウジアラビア、ターキーなどから来た学生とともに勉強しました。AP6からAP9のクラスの場合授業は朝8時半から12時半までで、カバーする技能は四技能すべてでした。リーディング、リスニングで得た情報やそれに関する意見をライティング、スピーキングで表現する、というのが授業の主な流れでした。そこそこの量の宿題が出るため、平日は勉強メインで遊ぶのは週末というのが研修中の日常でした(もちろん平日で遊ぶ日もありました)。

YUELIには上で紹介したメインの授業のほかにセミナーという授業があり、生徒が自身の好みに元づいて好きな授業をとることができました。授業のテーマとしては映画、音楽、カナダ文化、語学試験対策などがあり、私はカナダ文化の授業を選択しました。

4. 観光、休日その他

トロント近辺での移動はたいていTTCという地下鉄を利用しました。大学から地下鉄で15分程度の場所には巨大なショッピングモールのYorkデイルがあり、さらに2,30分移動すればカサロマ等の観光施設やトロントの中心地であるダウントウンに行くことができました。

ほぼ毎週の土曜日にはYUELI主催のツアーがあり、CNtower、ナイアガラの滝、メープルシロップフェスティバルやミュージカルなどを楽しむことができました。(特にナイアガラの滝は地下鉄等では行けないような遠い場所にあるのでとても良いツアーだと思いました。)

